



➤ 「しこちゅー冬夜市」に参加

12月23日（金）、イオン川之江店駐車場において「しこちゅー冬夜市」が開催され、本校からものづくり教育支援センターのミニSSLが参加しました。当日は多くの家族連れがミニSSL試乗コーナーを訪れ、サンタクロースに扮した本校学生が運転するミニSSLに600名以上が試乗しました。初めて目の前でミニSSLを見る子供達が多く、煙を吐きながら一生懸命走るミニSSLに興味深そうに眺め、試乗の際には家族に手を振ったり歓声を上げるなどしていました。また、夜間はイルミネーションの幻想的な光の中を快走しました。



➤ 校長年頭挨拶

1月4日（水）、本校第1会議室において新年互礼会を開催し、教職員約70名が出席しました。鈴木校長の年頭の挨拶では、入試倍率・高専の高度化・国際化・危機管理・教職員の業務負担軽減という5つのキーワードを挙げながら、今年4月に創立50周年を迎える今こそ、50年かけて築いてきた新居浜高専の良い伝統を継承し、改革すべきところを改革する時であると述べられ、教職員一同決意を新たにしました。



➤ 全国高専学習到達度試験を実施

1月12日（木）、第3学年を対象に数学・物理について標記試験が実施されました。この試験は、教育内容・方法の改善や、学生の主体的な学習姿勢の形成を促すことを目的に実施されており、試験の結果は、高専教育の充実に役立てられます。



➤ 四国地区高専共通試験を実施

1月12日（木）・13日（金）の2日間、英語及び化学教育の充実を図るために、標記試験を四国5高専で実施し、初日は第3学年が英語、翌日は第2学年が化学の試験に臨みました。

➤ マネートラブル講習会を実施

1月13日（金）、特別活動の時間において、本校一般教養科・竹原信也教員が講師となり、本科1年生を対象にマネートラブルに巻き込まれないための講習を行いました。カードが介在するトラブル、個人間の金銭の貸借に関するトラブルなど身近に起こりうるなかで、お金に関わるトラブルに見舞われないためにはどうすべきか、トラブルに見舞われた時にはどのように対処すればよいのかなどについて学びました。



➤ 運営諮問会議を開催

1月19日（木）、標記会議を開催しました。この会議は、本校の運営方針及び教育研究計画に関する学外の有識者による提言を学校運営の改革・改善に役立てることを目的に毎年実施して

います。

はじめに、鈴木校長からの挨拶に続き最近の主要動向について説明が行われました。その後、本校の年度計画をベースに、それぞれの目標を達成するための取組状況が報告されました。報告の後、各委員から、報告事項などに対して質や提言・要望等、活発な意見交換が行われました。



➤ 高専機構理事長が新居浜高専を視察

1月20日（金）、国立高等専門学校機構・林勇二郎理事長が本校を視察しました。林理事長は、まず鈴木校長他本校関係者との懇談を行い、その後、生物応用化学科4年生の化学実験の授業を訪れ、教員や学生が実験の説明を行い、時に学生に質問するなど興味深く見学し、ほかにも、クラブハウスや清風寮（女子学生寮）、高度技術教育研究センターなどを視察しました。

校内施設視察後に、林理事長は教職員対象に「高専の次なる50年に向けて」と題して講演を行いました。本講演会には教職員約80名が出席し、世界の潮流に目を向けての講演にメモを取る姿も見られました。



構内を視察する林理事長(左)



講演する林理事長

➤ 「冬のセタコンテスト」にセタ飾りを出展

1月22日（日）、新居浜市制75周年記念イベント・はまさいフェスティバルが開催され、そのうち、登道アーケードで行われた「冬のセタコンテスト」に本校学生が作品を出展し、新居浜商店街連盟賞を受賞しました。

機械工学科5年生・首藤綱志君らのグループが製作したのは、上部の球体を気球に見立て、気球から太鼓台が現れ、気球に吊されたブランコにBig Fatペンギン（平成14年度全国高専ロボコン大会エキシビジョン出場）が乗っているというデザインで、構想から3か月かけて製作した高専生ならではのユニークなセタ飾りで、3月11日（日）までアーケードに飾られました。



➤ 推薦選抜・学力選抜による入学試験 合格発表

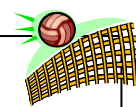
1月25日（水）に推薦選抜による入学試験の合格発表を、2月23日（木）に学力選抜による入学試験の合格発表を行いました。午前9時に受験番号が掲示板に張り出されると、発表を待っていた受験生の保護者や中学校の先生が掲示板の前に集まり、番号を確認していました。



➤ 学生会長立会演説会／クラスマッチを実施

1月25日（水）、次期学生会長を選出する立会演説会を行いました。信任投票の結果、電気情報工学科4年古川祐介君が有効投票数の3分の2以上を獲得し、来年度の学生会長に決定しました。4月から、新学生会長を中心とした学生会と学生とが協力してより良い高専づくりを目指





します。

投票後にはクラスマッチを行い、男子学生はサッカーとバスケットボールをクラス対抗で、女子学生はバレーボールをクラス対抗で戦い、会場

《クラスマッチ結果》

□サッカー（男子）

- 1位 機械工学科3年
- 2位 2年4組

□バスケットボール（男子）

- 1位 2年1組
- 2位 機械工学科4年

□バレーボール（女子）

- 1位 電気情報工学科3年
- 2位 生物応用化学学科3年

□大富豪

- 1位 1年4組
- 2位 電気情報工学科3年

のグラウンド・体育館では学生が生き生きとプレーしていました。また、男女が参加する「大富豪」では、教室で卓上の戦いが繰り広げられました。

➤ 平成23年度パテントコンテストで本校専攻科生が特許出願支援対象者に選出

パテントコンテスト（主催：文部科学省、特許庁、日本弁理士会、（独）工業所有権情報・研修館）は、高校生、高専生および大学生を対象に、知的財産マインドを育てると共に、知的財産権制度の理解を促進することを目的に、毎年開催されています。

今年度、生物応用化学専攻2年生の伊藤真衣さんが大学部門で特許出願支援対象者（5件）に選ばれ、その表彰式が1月27日（金）に東京の霞山会館にて行われました。本校の専攻科・生物応用化学専攻の学生が特許出願支援対象者に選ばれたのは、平成21年度に続き3年連続です。

平成23年度
テスト・デザインパテントコンテスト表彰式
科学省 特許庁 日本弁理士会 (独)工業所有権情報・研修館



➤ 本校も連携協力した取り組みが第4回ものづくり日本大賞（四国地域）「優秀賞」・「四国経済産業局長賞」を受賞

ものづくり日本大賞は、経済産業省・文部科学省・厚生労働省・国土交通省の連携により、2年に一度開催されている表彰制度であり、このほど決定した「第4回ものづくり日本大賞（四国地域）」に、本校も参加・連携協力している下記プロジェクトが優秀賞と四国経済産業局長賞に選ばれました。

□優秀賞

四国の中心・愛媛県東予地域ものづくり人材育成「創造体験」プログラム

□四国経済産業局長賞

旋盤加工の「匠」による高校生へのものづくり伝授

➤ 企業説明会を開催

2月7日（火）、本校第1体育館において来年3月卒業及び修了予定の本科4年生と専攻科1年生約230名を対象に企業説明会を開催しました。この企業説明会は、企業の人事担当者



と本校の学生が直接コミュニケーションをとる機会を設けることにより、学生の就職についての考えを深め、今後の就職活動をよりよいものにする

ことを目指して平成13年度から実施しているもので、今回も県内外から80社の企業に参加いただきました。真新しいスーツ姿の学生たちは、自己PR等を記入した「訪問カード」を手に関心のある企業のブースを訪れ、熱心に参加していました。



➤ 平成23年度新居浜高専読書感想文・感想画コンクール

読書感想文の部（優秀賞1名、佳作3名）ならびに読書感想画の部（優秀賞1名、佳作1名）の入賞作品が決定したことにあわせて、本科5年生1名および専攻科生2名については2月9日（木）に校長室で、本科4年生以下については3月2日（金）終業式において表彰式を行いました。



➤ キャンパスベンチャーグランプリで特別賞を受賞

2月10日（金）、四国の学生による新事業の提案コンテストである「キャンパスベンチャーグランプリ四国」の審査会及び表彰式が開催され、本校の学生が特別賞を受賞しました。本校の学生の提案はビジネス部門とテクノロジー部門から成る部門のうち、テクノロジー部門の審査対象となり、共に特別賞を受賞しました。

- 特別賞（日刊工業新聞社賞）
テーマ「和紙を用いた新規脱臭剤」
一柳 あすか、宇田 栞、楠本 翔太
- 特別賞（四国産業人クラブ賞）
テーマ「Nafion膜を用いた過酸化水素ガス電極」
山内 亜美



プレゼンの様子

➤ メンタルヘルス講演会を開催

2月14日（火）、豊岡台病院長の枝廣篤昌氏を講師に迎え、「笑いのチカラ」をテーマに教職員対象のメンタルヘルス講演会を開催しました。枝廣氏は、精神科医とアマチュア落語家「芸乃虎や志」という二つの顔を持ち、笑いをいかした地域づくりのために活躍しています。講演は、専門的な内容でありながらも、巧みな話術でわかりやすく笑いを交えながら話し、さらに実際に受講者全員で笑いヨガを行うなど、「笑いのチカラ」を体感できる有意義な機会となりました。



➤ 知的財産講演会を開催

2月24日（金）、山口大学教授・学長特命補佐、知的財産部門長の佐田洋一郎先生をお招きし、知的財産講演会を開催しました。本講演は、「ゼロから学べる知的財産～だれもが知っておきたい知的財産の話～」と題し、特許のイロハから、研究成果からの発明抽出のポイント、権利取得のノウハウ等をやさしく学べる内容として、本校・高度技術教育研究センターが企画しました。講演では、佐田洋一郎先生が、さまざまな事例を具体的な商品・グッズ等を手にしながらか聴講者の興味をかき立てるユニークな内容となり、参加した企業関係者の方には熱心にメモを取る姿が多く見られました。



➤ 第49回新居浜高専工業技術懇談会を開催

2月29日（水）、標記懇談会を開催しました。今回の懇談会は、新居浜高専技術振興協力会「愛テクフォーラム」の学生会員による、(財)理化学研究所における研修の報告と、愛媛大学社会連携機構・副機構長の土居修身教授による、「MOT (Management of Technology) 技



術経営勉強会」の2本立てにて開催し、愛テクフォーラム会員・地元企業関係者・本校学生及び教職員等約50名が参加しました。

➤ 新居浜高専オリジナルグッズ「コーセン飴」個包装デザイン表彰式

平成24年4月に創立50周年を迎えることを記念して、オリジナルグッズ「コーセン飴」を製作しました。本グッズ製作にあたっては、個包装デザインを本校美術部が担当し、新居浜高専らしいアイデアを考案しました。その功績を讃えて2月29日（水）に表彰式を行いました。表彰式には部員12名が出席し、代表者に表彰状が授与され、鈴木校長から感謝の言葉が述べられました。なお、コーセン飴は、3月16日（金）の本校卒業式・専攻科修了式において販売が開始されました。



➤ 「ちどり」食堂閉店にあたり感謝状贈呈

本校創立後、福利施設における学生食堂及び売店を運営され、多年にわたり高専生をはじめ本校関係者がお世話になった「ちどり」が、平成24年3月をもって閉店することになり、3月2日（金）の終業式後において、「ちどり」代表者に鈴木校長から感謝状が贈られました。感謝状贈呈後、鈴木校長、学生会長、前学生会長が感謝の言葉を述べ、長年お世話になった「ちどり」に感謝の意を込めて出席者全員で拍手を送り、盛大な贈呈式となりました。



➤ 第14回化学工学会学生発表会優秀賞

3月3日（土）、宇部高専で開催された第14回化学工学会学生発表会（西日本）において、生産工学専攻1年 大田 杏さんが「ジ(2-エチルヘキシル)リン酸を用いた塩基性染料の抽出・逆抽出」という発表で優秀賞を獲得しました。この発表会は、大学生（1～4年）・高専生（本科生、専攻科生）および高校生が、研究成果の発表と闊達な討論を行うことにより、研究者あるいは技術者として堅実に成長する機会を提供することを目的としており、いかに自分で考えて研究を展開しているか、自分の研究としてアピールできているか、という観点で評価され、選ばれたものです。



➤ 第2回t-Cupチャレンジ 時の甲子園 in 小金井（技術コンテスト）に出場

3月9日（金）、標記コンテストの最終審査が情報通信研究機構において行われ、最終審査に残った4チームによるプレゼンテーションと作品の展示説明が行われました。

本校から同コンテストに応募した電子制御工学科5年生の高橋純平君、村上雅也君、藤田将君、秦和己君、村上立真君（チーム名：NNCT）製作の「変身！！虹色時計」に対し、高い技術力と独創性が評価され、みごとグランプリを獲得しました。



➤ 第8回種子島ロケットコンテストに出場

3月9日（金）から11日（日）にかけて、宇宙航空研究開発機構（JAXA）種子島宇宙センターにて標記大会が開催され、本校電気情報工学科5年鏡原想一朗君と谷口正義君のチーム（指導教員：電気情報工学科 若林誠助教）が「ペイロード部門」に出場しました。

「ペイロード部門」は、衛生機能モデル（CanSat）の性能を競うもので、大会実行委員会が用意するロケットに CanSat を搭載し、高度 100m 前後まで打ち上げ、空中で CanSat を放出します。その後、CanSat が自律制御により飛行または走行して、あらかじめ指定した目標ポイントの近くに到着できるかを競います。また、この部門は CanSat の大きさにより、「CanSat クラス」と「オープンクラス」に分かれています。

大会当日は、打ち上げに使用されるロケットの不具合等により、打ち上げ前日に行ったプレゼンテーションで判定が行われ、谷口君と鏡原君のプレゼンテーションが高く評価された結果、オープンクラスで優勝となりました。



➤ 卒業式・専攻科修了式を挙

3月16日（金）、新居浜市市民文化センター大ホールにおいて第46回卒業式・第19回専攻科修了式を挙

式では、第5学年の各学級担任及び専攻主任が卒業生・修了生の名前を読み上げ、各学級・各専攻の代表者は、鈴木校長から卒業証書・修了証書を授与されました。

また、卒業式・専攻科修了式後には JABEE 認定修了証授与式も実施し、修了生は力強い表情で技術者としての一步を踏み出しました。



◆◆寮務委員会から◆◆



○ 寮マッチ

1月14日（土）、スポーツ大会を開催しました。男子はドッジボール、女子はサッカーを行いました。寒い1日でしたが、みんなで気持ちの良い汗を流しました。役員が振る舞った豚汁は、今年も好評でした。体が心から温まりました。





新居浜高专は
平成24年4月に創立50周年
を迎えます。

新居浜高专オリジナルグッズ「コーゼン飴」
個包装デザイン



(独)国立高等専門学校機構

新居浜高专

Niihama National College of Technology

～知恵 行動力 信頼～

〒792-8580 愛媛県新居浜市八雲町 7-1
TEL(0897)37-7700 FAX(0897)37-7842